

独 教 研 第 9 6 号  
平成30年6月29日

各 都 道 府 県 知 事 殿

独立行政法人教職員支援機構  
理事長 高岡 信也



(印影印刷)

平成30年度食育指導者養成研修の実施について (依頼)

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

については、推薦がある場合は、別添の実施要項中「7受講者(4)推薦手続」のとおり、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を平成30年8月3日(金)までに、電子メールにて、つくば中央研修センター研修事業課宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ (<http://www.nits.go.jp/training/002/013.html>) からダウンロード可能となっております。

なお、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。推薦にあたっては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく願います。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。

問合せ先

独立行政法人教職員支援機構  
つくば中央研修センター 研修事業課  
研修プロデュース室 猪股・中島  
TEL:029-879-6974・6633  
FAX:029-879-6645  
e-mail: kk2@ml.nits.go.jp

岩手県

30.7.-2

法学第 号

# 平成30年度食育指導者養成研修 実施要項

## 1 目的

食育の重要性に鑑み、学校において食育を推進するため、各都道府県等における食に関する指導体制の整備、食に関する指導の充実に資するよう、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 平成30年10月9日(火)～10月12日(金)

5 会場 独立行政法人教職員支援機構  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 定員 120名(6ユニット)

## 7 受講者

### (1) 受講資格

- ①各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びに、これに準じる者であって、食に関する指導を担当する者
- ②小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、教諭及び学校栄養職員等であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ③栄養教諭であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ④当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定を含む)教職大学院の学生

### (2) 推薦人数

各都道府県(中核市を含む)及び指定都市においては2名程度とする。また、より効果的な指導体制の整備及び演習の充実のために、可能な限り、上記(1)①②から1名以上、③から1名以上を推薦するものとする。

### (3) 健康状況の確認

1週間程度の宿泊研修となるため、宿泊研修に耐え得る健康状況の者を推薦するよう御配慮願いたい。

### (4) 推薦手続

推薦期限は、平成30年8月3日(金)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国立大学法人及び独立行政法人国立青少年教育振興機構については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

#### (5) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会の推薦に基づき、当機構が決定し、通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当機構において調整を行う場合がある。

### 8 研修内容

講義や演習を通じて、食育の果たす役割や食育を推進するための基本的な考え方について学ぶ。また学校給食を活用した食育の推進並びに食に関する指導に係る全体計画の作成、各教科における指導のポイント、食育を効果的に推進するためのカリキュラムマネジメントの進め方について理解を深める。あわせて、食育を推進するための指導者として必要な知見を深める。

日程表は別紙1のとおりとする。

### 9 部会について

食育について全体講義の他、以下の①～④部会（各部会内で学校種別の班編制を行う）に分かれて演習等を実施する。

なお、受講する部会については、各部会の受講希望を勘案し、当機構で調整の上、受講者決定通知の際に連絡する。

①部会：家庭、技術・家庭における食に関する指導の検討・発表（小学校・中学校）

②部会：体育、保健体育における食に関する指導の検討・発表（小学校・中学校）

③部会：総合的な学習の時間における食に関する指導の検討・発表（小学校・中学校）

④部会：特別活動における食に関する指導の検討・発表（小学校・中学校）

### 10 事前課題について

部会別に事前課題を課す。内容等詳細については、受講者決定通知の際に連絡する。

### 11 その他

(1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。

(3) 本研修終了後に受講者アンケート等を行う。また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成30年度食育指導者養成研修 日程(案)

10月9日(火)	9:00	9:30	10:00	11:10	11:20	12:30	13:30	15:00	15:15	17:00
		受付	オリエンテーション	講義1 学校における食育の推進 ◎学校における食育の果たす役割や食育を推進するための基本的な考え方を理解する	休憩	講義2 学校給食を活用した食育の推進 ◎学校給食を活用した食育を推進するための基本的な考え方を理解する	昼食・休憩	講義3 食に関する指導に係る全体計画の作成について ◎食に関する指導に係る全体計画について、作成の意義、盛り込むべき内容、作成手順等について理解を深める	休憩	講義1 各学校や地域の実情に応じた「食に関する指導に係る全体計画」の作成 ◎班別演習を通して、自己の学校や地域の実情を踏まえ「全体計画」の在り方について知る

10月10日(水)	8:30	8:45	10:15	10:30	12:10	13:10	14:50	15:00	17:00	
		受付	講義4 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方 ◎新学習指導要領の趣旨に基づき、食育推進のためのカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する	休憩	講義5-1 各教科等における食に関する指導のポイント ◎家庭、技術・家庭 ◎体育、保健体育 ◎各教科等における食に関する指導のポイントについて理解を深める	昼食・休憩	講義5-2 各教科等における食に関する指導のポイント ◎家庭、技術・家庭 ◎体育、保健体育 ◎各教科等における食に関する指導のポイントについて理解を深める	講義5-3 各教科等における食に関する指導のポイント ◎総合的な学習の時間 ◎特別活動(学級活動)	講義5-4 各教科等における食に関する指導のポイント ◎特別活動(学級活動)	講義2【総合別】 各教科等における食に関する指導についての検討 ①家庭、技術・家庭 ②体育、保健体育 ③総合的な学習の時間 ④特別活動(学級活動)

10月11日(木)	8:30	9:00	12:00	13:00	17:00
		受付	講義3【総合別】 各教科等における食に関する指導についての検討 ①家庭、技術・家庭 ②体育、保健体育 ③総合的な学習の時間 ④特別活動(学級活動) ◎班別演習を通して、各教科等における食に関する指導の在り方について理解を深める	昼食・休憩	各ユニットで研修プログラムの共有

10月12日(金)	8:30	9:00	12:20	13:20	14:30	17:00
		受付	講義4 「家庭、技術・家庭科」、「体育、保健体育科」、「総合的な学習の時間」及び「特別活動」における「食に関する指導例」の発表 ①家庭、技術・家庭 ②体育、保健体育 ③総合的な学習の時間 ④特別活動(学級活動) ◎各教科等における食に関する指導の在り方について、理解を深める	昼食・休憩	講義6 食育を推進するための指導者としての研修内容を振り返り、指導者として必要な内容を整理する	閉講式 各ユニットで研修プログラムの共有

平成30年度食育指導者養成研修 推薦名簿

(教育委員会・学校等名)

推薦 職位	氏名	フリガナ (全角カタカナ)	年齢 (H31.3. 31現在)	性別	所 属			所在地	所属機関種 別	電話番号	希望 学校種 (※2)	希望部会(※3)					経験 年数 (年) (※4)	備考
					職名1 (※1)	職名2 (※1)	郵便番号					第1	第2	第3	第4	第5		
1	□□ □□	□□□ □□□	XX	□	〇〇県教育委員会	指導主事	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇〇-〇〇-〇〇	教育委員会	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	中	1中	2中	3中	4中	1小	1	
2	□□ □□	□□□□ □□□□	XX	□	〇〇市立〇〇小学校	栄養教諭	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇〇-〇〇-〇〇	小学校	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	小	2小	2中	3小	3中	1小	5	
3	□□ □□	□□□□ □□□□	XX	□	〇〇大学大学院	その他	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇〇-〇〇-〇〇	大学院	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	中	3中	4中	3小	4小	2中	2	
<記入例>																		

担当者氏名	担当者所属
所属先住所	E-mail
	電話番号

- ※1 職名1の選択項目に該当がない場合は「その他」を選択し、職名2に職名を入力してください。(例:職名1「その他」、職名2「研修主事」、「学生」)
  - ※2 「希望学校種」欄には、小学校及び義務教育学校(前期課程)の教職員は「小」、中学校、義務教育学校(後期課程)及び中等教育学校(前期課程)の教職員は「中」と記入してください。指導主事、高等学校及び中等教育学校(後期課程)の教職員、教職大学院生等については、希望する学校種(「小」、「中」のいずれか)を記入してください。
  - ※3 本研修の「演習2」は、部会に分かれての演習を行います。(実施要項「9 部会について」及び日程を参照)希望する部会を第5希望まで選択し、各希望欄に以下に従って記入してください。  
記入方法:希望の部会と学校種の頭文字の組み合わせを記入。  
例:「家庭・技術・家庭」「小学校」→「1小」、「2体育、保健体育」「中学校」→「2中」、「3総合的な学習の時間」「小学校」→「3小」、「4特別活動」「中学校」→「4中」等  
なお、研修実施の都合上、希望する教科にならない場合がありますので、予め御了承ください。希望欄が未記入の場合、特段の希望がないものと判断します。
  - ※4 「経験年数」欄には、演習班編製の参考とするため、食育指導の担当としての経験年数を記入してください。  
○ 都道府県教育委員会においては、中核市教育委員会についても取りまとめてください。  
○ 私立学校及び大学においては、電子メールにて御提出ください。  
○ 修了証書を授与するため、「氏名」欄は正確に記入してください。  
旧字体等に留意いただくとともに、外字については「●」を入力し、備考欄に説明をお書きください。
- (注) 行が不足する場合は、適宜増やしてください。 ※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。